

*Learning
by
Doing*

過程に寄り添う。
未来につながる。



桐朋女子中・高等学校



この場所から、 未来につながる、 今が始まる。

Learning by Doing一。

実践や経験から自らの体を通して感じ、知識や感性を高める。

これは私たち桐朋女子が、生徒に対しても、

教員に対しても、大切にしている教育方針です。

生徒「から」教員へ、

教員「から」生徒への対話を通して、

挑戦「から」結果へ、そして、

結果「から」成功への過程にしっかり寄り添う。

桐朋女子のパンフレットシンボル「～」のマークには、

Learning by Doingの、そんな想いが込められているのです。

たとえばそれは、

失敗を恐れずに取り組む姿勢を尊重する教育。

実践を通して、ホンモノに触れる教育。

対話を通じて、過程に寄り添う教育。

過程の中で得た学びを次の挑戦に生かす教育。

前例がないことでも、私たちは果敢に挑戦していきます。

過程から学びを得るLearning by Doingを実践し、

創造力あふれる女性の育成を目指します。

卒業後の未来を見据えた他にない学びを、今ここからはじめる。

今 ～ 未来につながる最高の6年間を。

さあ、あなたも桐朋女子ではじめませんか。



生徒たちの夢や希望を
パンフレットシンボルの
「～」のプレートに書き出し、
シャドウアートとして
表紙とこちらのページで使用。
こちらから制作過程の動画を
公開しています。



論理的思考力を鍛え、 過程を重視する桐朋女子の学び。

桐朋女子では、「ことばの力」を育む学びのプログラムに重きを置き、これからのグローバル社会で求められる対話力を養います。そして、身につけた力を生かして前に進む生徒たちの過程を見つめ寄り添うサポート体制を整え、生徒一人ひとりの成長を支えています。



対話を重視する

一人ひとりと向き合い、じっくりと話し合う。
中学A入試の口頭試問や
年2回の担任との個人面談など
学校生活のあらゆる場面において
対面で伝え合うことを
大切にしています。

自分で決める・自分で作る

自分の学びは自分で決める。
英語や数学は中学2年から習熟度別のコースを選び、
高校では自由に選択できる科目を
数多く用意しています。
自分を客観的にとらえることが必要となります。
※英語アドバンストコースは中学1年から選択



そのつどで評価する

学習では結果だけでなく
結果までの過程も重要です。
生徒がどこまで理解しているか、
どこでつまづいているのか。
ノート提出、小テストや
テストの振り返りを通して
教員も生徒もそのつどの理解を
深めていきます。

過程に寄り添う

学 級 担 任 連 絡 票										担当者	印	
年度		後期		前期		前期		前期		前期		
教科		国語		国語		国語		国語		国語		
中 学 1 年		担任:		評価(Ⅰ)		評価(Ⅱ)		評 価		備 考		
No.	番 号	氏 名	コ ー ス	1	2	3	4	5	6	コ メ ン ト		
1	1		B	B	A					[中]を通して漢字テストを何度も行った。しかし定着していない漢字も多いので、習った言葉を自分のものにすることも必要である。中論理的な文章を書いたための訓練もまた必要である。 漢字テストを頑張っていた。読解では、書いていないことまで読み取ろうとしてしまうので、書かれていることを正確に読み取る訓練を促す必要がある。 授業中によく質問をしていた。漢字テストを大変よく頑張っていた。読解では書かれたことを正確に読み取り、自分の言葉で述べるための訓練が必要である。テスト直前ノートもよく出していた。 漢字テストを頑張っていたが、正確に定着していないようだ。漢字テストの時だけでなく、読解や表現する際の言葉として漢字を使えるようにすれば、読解などの力も伸びるだろう。 漢字、読解共に低空飛行である。書かれていることを素早く正確に読み取り、分からない言葉があったら調べるという、学習習慣をつける必要がある。百人一首テストでは読解で苦戦しているように見える。 テスト直前や漢字テストに真面目に取り組んでおり、よく質問に来る。読解のセンスはあるので、文法や古文などの知識を増やしていく必要がある。 読書の好きという点もあり、読解力に長けている。二月の単語テストでは、これまで不得手であった漢字の書きとりを頑張っていた。学年で唯一「角力」が読めた。百人一首テストでは半分以上正確だった。 授業に非常に長けている。漢字は人まですぐに覚え、正確に読解する力を今後つけていってもらいたい。百人一首テストは選択ではあったが、正確ではある程度書けるもの、読解や文法が不明瞭な場合が多く、点を落としている。学習に丁寧に取り組む姿勢を身につける必要がある。 漢字テストを頑張っていた。授業中に積極的な発言をすることが多い。休み時間と授業中の区別があまりついていないよう		
2	2		B	B	B							
3	3		B	B	B							
4	3		B	B	A							
5	4		B	B	B							
6	4		C	C	C							
7	6		B	B	B							
8	7		B	B	B							
9	7		B	A	B							
10	8		A	B	C							
11	9		C	B	C							

一人ひとりに伝える

桐朋女子では、各教科の成績は担任との面談で伝えられます。
教科担当者がコメントの形でまとめたそれぞれの取り組みも
面談の材料となり、次への足がかりになります。

「探究」で見えてくること

T-Projectで実践する探究的な学びは、桐朋女子が開校以来、
80年以上にわたって大切にしてきた学びです。結果を焦らず過程を重視する姿勢、
本物にふれるためのフィールドワークや実験等の活動、物事を論理的に整理して
他者に伝える力等々、桐朋女子の学びは常に探究を意識してきました。
T-projectは、そのような豊饒な土壌の上に成り立つ、桐朋女子オリジナルの探究学習です。





ことばによる様々な表現技術

ことばを自由に使いこなすためには
「読む」「書く」「聞く」「話す(発表・やり取り)」といった
能力が求められます。

外国語科では、英語「で」自由に表現でき、
論理的に考えられるように、
エッセイライティングやスピーチ発表、
オンライン英会話等を通して、4技能5領域の
バランスのとれた英語力を育成します。



体系的な学び・論理的思考力の土台を作る

思考を深め的確に表現するためにはことばを論理的に運用するスキルを
体系立てて学ぶ必要があります。国語科では中学で
「論理的思考に基づく言語スキル獲得のための段階的指導」を行い、
「論理エンジン」(水王舎)を副教材として日本語の論理性を身につけていきます。



ともに学び合う・協働学習

ともに学ぶことは様々な視点に気づくことや
自らの考えを深めることにつながります。
家庭科の調理実習や理科の実験など
グループでの学びが客観的な視点の広がりにもつながるのです。
また、保健体育科の団体種目の学習ではチームを組んで
お互い教え合い、技術の習得を目指します。

本物に触れる教育

桐朋女子は様々な経験を通して
得られる学びを大切にしています。
社会科のレポートでは見学などの体験を通じ
自ら問いを立て論理的にまとめる力を養います。
理科では観察や多彩な実験を行い、
学んだことをそれぞれ言語化してまとめ
真の理解につなげます。



未来を切り拓く「学び」溢れる、 桐朋女子の6年間。

6年間のロードマップ



内面的に大きな成長を遂げる中学・高校の6年間。
桐朋女子では、中高6年間で3つに分けるブロック制によって、
中学と高校のギャップを埋め、安心して過ごせる体制を整えています。
桐朋女子で過ごす6年間に溢れる、数多くの「学び」。
様々な教科のいくつもの「学び」が積み重なり、
スムーズな中高一貫教育を実現しています。



Cブロック

高2

高3

創造を開花させる

自分で作る時間割

※Cブロックでの必修・選択科目については右の表を参照

の授業

的に運用するスキルを体系立てて学びます。
や「レポート課題」に取り組みます。

化学実験実習(高3)

生物野外実習(高1～高3)

の実験...etc.

高校では専門的な実習や実験によって、
それぞれの分野の学びを深めます。

中学ではフィールドワークをもとに取り組むレポート課題の中で情報分析、仮説の設定・
論証などの技術を身につけます。高校では培った技術を生かして学びを深めます。
発表学習では生徒自らが授業者となり、情報を発信し、プレゼンテーション能力を磨きます。

実習

スキー実習

体育の授業では校外の実習を
選択することができます。

から見つめ、自分が望む生活の実現につながる学びを深めます。
家族をテーマにした問題に取り組むディベートを行います。

家族をとりまく問題

自分で作る時間割 ☐必修 ☒必修選択 ☐自由選択

高2					
教科	科目	単位	教科	科目	単位
国語	論理国語α	2	保健体育	体育	2
	論理国語	2		保健	1
	文学国語α	1		キャンプ実習	1
	文学国語	1		スキー実習	1
	国語表現α	2	芸術	音楽II	2
	国語表現	2		美術II	2
	古典探究α	2		書道II	2
	古典探究	2		音楽特講	2
地歴・公民	地理探究	4		素描特講	2
	日本史探究	4	外国語	英語コミュニケーションII	5
	世界史探究	4		論理・表現II	2
	地理実習	1		フランス語	2
数学	公共	2		中国語	2
	数学II	4		Dual Language General Studies	2
理科	数学B	2	家庭	家庭総合	3
	物理基礎	2	総合的な探究の時間		1
	入門化学	2	HR		-
	入門生物	2			
	地学基礎	2			
		生物野外実習			1

高3					
教科	科目	単位	教科	科目	単位
国語	論理国語	2	芸術	音楽III	2
	文学国語	2		美術III	2
	国語表現β	2		書道III	2
	国語表現	2		音楽特講	2
	古典探究	3		素描特講	4
地歴・公民	地理探究	2		西洋美術史特講	2
	日本史探究	4		日本美術史特講	2
	日本史探究γ	4		書道特講	2
	世界史探究	4		音楽演習	2
	世界史探究γ	4	外国語	英語コミュニケーションIII	4
	日本史演習	2		論理・表現III	2
	世界史演習	2		論理・表現γ	2
	地理実習	1		High Level English Test Course	2
	倫理	2		英語演習	2
	政治・経済	2		フランス語	2
数学	公共演習	2		中国語	2
	総合社会特講	2		Dual Language General Studies	2
	数学III	4	家庭	家庭総合	1
	数学C	2		被服	2
理科	数学演習	1		食物	2
	物理	4	総合的な探究の時間		1
	化学	4	HR		-
	生物	4			
	地球科学	2			
	生物演習	2			
	化学基礎演習	2			
	地学基礎演習	2			
保健体育	生物野外実習	1			
	体育	3			
		体育特講			2

理想の未来を目指して、 一人ひとりに寄り添う進路指導。

Aブロック | 基礎学力を身につけ、 多角的な視野を養う

英語・数学・国語を中心とした日々の学習の積み重ねと、定期的な学力推移調査による振り返りによって、基礎学力の定着を目指します。また、社会や理科、芸術等の科目では、系統学習と探究学習をバランスよく取り入れ、知識・教養を身につけながら、興味関心の幅を広げていきます。



Bブロック | 広い世界に目を向け、 自己の適性を知る

卒業生による講演会、職業理解セミナー、大学調べ等多くの進路探究企画を通して、進路についての考えを深めていきます。また、進路適性検査から、自分の興味関心がどこにあるのかを探ります。学力推移調査、スタディサポート、進研模試により、定期的に学力の伸びを確認していきます。



Cブロック | 将来の方向性を定め、 それぞれの学びを深める

卒業生による講演会や大学の出張講義、大学説明会等を通して、具体的な進路について考えます。スタディサポートや外部模試、表現サポート、長期休暇中の受験対策講座により、高校での基礎学力及び受験に向けた学力を形成していきます。高校3年では、進路希望調査や面談を行い、個々に進路をつめていきます。また、共通テスト模試や記述模試、共通テストの模擬体験等、大学入試に備えます。



中
3

職業レディネス・テスト
校長面接
高校カリキュラム説明会
学力推移調査

高
1

進路適性検査
小論文講座
大学説明会
高大連携プログラム
医学部進学セミナー
スタディサポート
進研模試
卒業生講演会

高
2

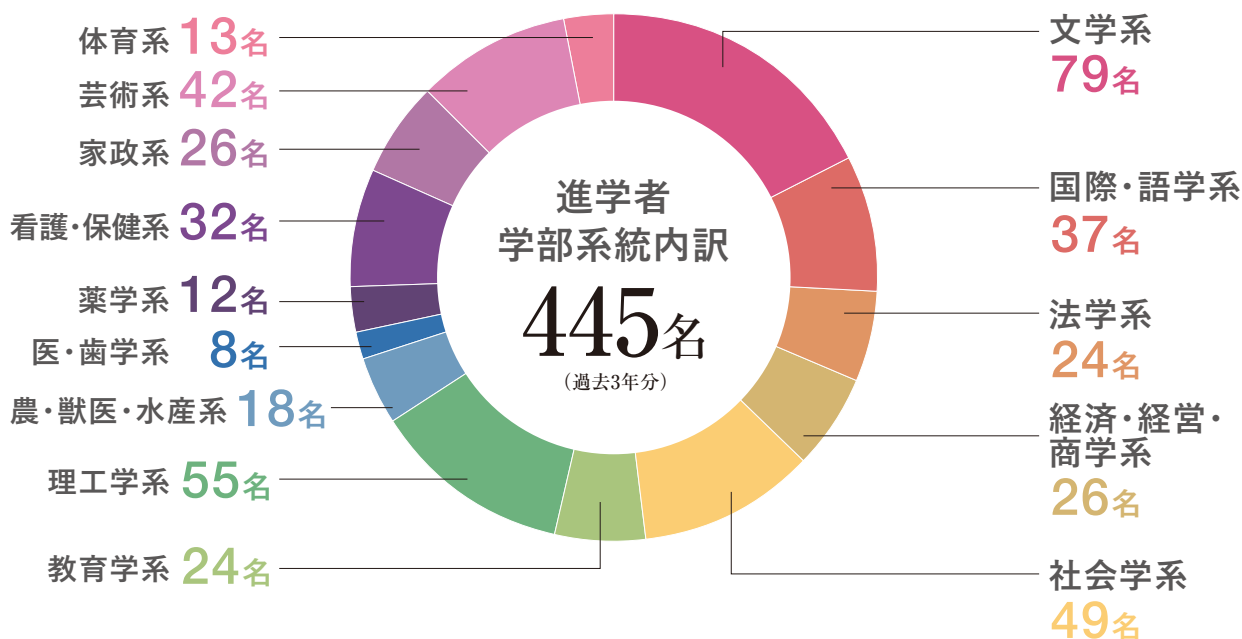
大学説明会
小論文講座
高大連携プログラム
スタディサポート
進研模試
夢ナビプログラム
医学部進学セミナー
卒業生講演会
春季受験対策講座

高
3

進路相談(生徒、保護者)
大学説明会
大学出張講義
夏季受験対策講座
受験補講
外部模試



桐朋女子では、進路指導プログラムと幅広いキャリア教育を通して、卒業後の人生を主体的に切り拓く人を育成します。受験学力の錬成や大学・職業の選択指導だけにとどまらず、創造力、そして総合的な人間力が、変化の著しいこれからの社会を生きる力につながるでしょう。



桐朋女子では、すでに多くの卒業生が自分自身で進路を切り拓き、歩みを進めています。

特定医療法人社団研精会 社会福祉法人新樹会 理事長	山田 多佳子さん	29期・青	アナウンサー・DJ	金子 奈緒さん	49期・紫
玉川大学大学院教育学研究科教授	星野 あゆみさん	36期・白	国連職員	大野 慶さん	52期・赤
東京外国語大学大学院 総合国際学研究院教授	吉富 朝子さん	39期・黄	CMディレクター	舟越 響子さん	52期・赤
世界銀行タンザニア事務所 上級保健専門官	鈴木 千穂さん	40期・赤	バリ舞踊家	山室 祥子さん	52期・赤
世界経済フォーラム日本代表 エグゼクティブ コミティーメンバー	江田 麻季子さん	40期・赤	株式会社テレビ朝日アナウンサー	堂 真理子さん	56期・緑
写真家・映画監督	蛭川 実花さん	47期・青	株式会社テレビ朝日アナウンサー	上宮 菜々子さん	56期・緑
慶應義塾大学総合政策学部教授	廣瀬 陽子さん	47期・青	シンガーソングライター・ノンフィクション作家	寺尾 紗穂さん	56期・緑
認定NPO法人ACE代表	岩附 由香さん	49期・紫	演出家	稲葉 賀恵さん	61期・紫

■ 高大連携

電気通信大学、東京女子大学、日本女子大学、津田塾大学と協定を結んでいます。協定校への訪問や出張授業、大学の科目履修などを通して生徒たちは視野を広げ、大学への学びへとつなげます。また協定校への推薦制度もあります。



■ OGの声

希望進路を実現する手厚いサポートが魅力です

赤木 舞さん 2018年卒 東京医科大学 医学部

先輩方の講演や校内での大学説明会、添削や個人面談などの多彩なサポートがあり、一人ひとりが希望進路を目指す環境が桐朋女子にはあります。日々学びを深め、患者さんと共に歩む医師を目指します。



日々の学習を積み重ねることで、 社会で活躍できる力を身につける。

Japanese		
国語	探究心・知性に支えられたホンモノの読解力を養います。	
文章を読むこと、それは文字を介して他者と知を交流させることです。授業では、上代から近現代までおよそ1300年の間に書かれた文章を扱います。それらを読むためには、分野を問わない豊かな知性が必要です。そして知性を身につけるための貪欲な知的探究心が求められます。知らなくて良いことなんて何一つありません。さあ、一緒に知の森への探検へと出かけましょう。		
Math		
数学	基礎から段階的に数学的リテラシーを鍛えます。	
中学1、2年では、基礎学力の定着に重点を置き、クラスを分割した授業を展開。単元ごとのテストやテスト直しノートを活用した振り返りを通して、生徒一人ひとりの取り組みや課題を確認、共有し、より良い学習方法を見つけていきます。日々、生徒への声かけを行いながら指導をしています。		
Social Studies		
社会	興味のある現場を見学してレポートにまとめます。	
各学年の授業内容に応じて社会見学を実施しています。特に中学3年では、「裁判傍聴」「ユニセフ見学」など6つの見学コースから自分自身が興味関心のあるコースを選択。見学後には、実際に見たことや本などで調べたことをもとに自分の考えをまとめ、レポートも作成します。		
Science		
理科	体験を通じて「本物」の自然現象を理解します。	
自然現象を理解するには本物に触れることが重要です。そのために実験・観察実習を多く取り入れ、科学的に探究しながら授業を進めています。生徒たちは体験を通して、自分自身で思考・考察し、発見や理解を重ね、そして何よりも「本物」を感じ、理解することができるのです。		
English		
外国語	基礎から発展まで段階的に学んで英語力を伸ばします。	
最初は基礎的な英語の表現を学ぶことから始めますが、教科書の学習だけでなく、自己紹介や将来の夢などのスピーチを行うなど、実際に英語を使う機会が多いのが特色です。英単語の学習や音読を習慣化させて英語学習の土台を作りながら、様々な発展的表現を学び、英語力を伸ばしていきます。		

中高6年間で段階的に学べるメリットを生かし、教科ごとに工夫を凝らした「特色ある学び」を展開しています。
一方通行の単なる座学で終わることのない、生徒一人ひとりが積極的に学ぼうとする学習環境を構築し、
将来、社会で広く活躍できる人材を育てます。



詳しい「教科解説」は
こちらへ



Health and Physical Education		
保健体育	「生涯体育」へとつながる教育を目指します。	
中学では様々な種目を体験し、多くの技能・ルールを学びます。個人種目では、個別に課題や到達目標を設定し、種目終了時までどれだけ上達できたかを評価。また団体種目では、グループ学習を通じてお互いが協力し合い、作戦を立てたり技術向上につなげたりなど、仲間意識も高めます。		
Art		
芸術	芸術を広く学びつつ、自分の興味関心を深めます。	
芸術科は「音楽」「美術」「書道」から構成されています。中学1、2年ではそれぞれの基礎を学びながら、様々な表現方法に触れていきます。そして中学3年では興味に応じて、主専攻と副専攻とに分けて学び、高校1年で1科目のみを選ぶ「必修選択」へとつながります。		
Home Economics		
家庭	生活を創る、人生を創る。その大切さを学びます。	
調理実習では基本的な調理や和洋食の比較を、被服実習ではお弁当袋やエプロン製作などを行い、生活に必要な技術を身につけます。また、高校では自立を意識し、住宅の探し方、家族法などについて学びます。ライフイベントに関わるテーマでのディベートも行います。いろいろな視点からものごとを捉え、選択肢の幅を広げていきます。		
情報	「情報」があふれる現代社会に必要となる「情報の見方」「情報の活用の仕方」「情報に接する場合に注意しなければならないこと」などを学び、情報を「手に入れる」「分析する」「発信する」ためのスキルを身につけます。	
道徳	桐朋女子の「道徳」では、教科書にある様々なテーマを、それを扱うのに最も適したタイミングで学習していきます。「考え、議論する道徳」と言われているように、一人ひとりが文章を読み理解し、それぞれが意見や思いを表現し合い、他者と考えを共有することにより、物事を多面的・多角的にとらえ、よりよい行動につなげていく力を養う、それが「道徳」の時間です。	
総合的学習	中学では「総合的な学習の時間」、高校では「総合的な探究の時間」が毎週1時間、時間割に組み込まれていますが、学校生活で経験する合宿や行事も、すべてが「学びの場」と考えています。Bブロックでは、探究に必要なスキルを学び、自らの興味・関心に応じてテーマ・プロジェクトを設定し、探究活動を進めていきます。	

桐朋女子での学びが、支えが、 未来への一步を踏み出す原動力に。



（東京工業大学 理学院化学系修士課程）
卒業生 M・Tさん

化学の面白さを
教えていただきました。

一緒に化学談義ができて
うれしいです。
理科教員 M・Y先生

Y先生 Tさんが高1と高3のときの担任が私でした。

Tさん はい。でも私にとってY先生は、担任の先生というだけではなく、化学の面白さを教えていただいた「化学の先生」としての存在も大きいです。桐朋女子の理科の授業は実験が多く、しかも2～3人の少人数で行うので、誰もが何かしらの役割を担って実験に取り組みました。大学でも数多くの実験を行いました。大学に近い実験量を桐朋女子で経験できたと感じます。

Y先生 春休みと夏休みの「化学実験実習」にも積極的に参加してくれましたね。



Tさん 朝から夕方までずっと実験できる楽しいイベントでした。実験の魅力は、次から次へと疑問が浮かんでくることです。実験する度に「なぜ？」が生まれて、それを実験で実証すると、また新しい「なぜ？」が出てきます。自分で「実験ノート」を作り、疑問点を調べても分からないところは先生に質問し、それをノートにまとめてという作業

を繰り返していました。そのノートは大切に保存していて、今でもたまに見返しています。

Y先生 確かにレベルの高い質問をいくつもされた記憶があります（笑）

Tさん 高校では学ぶ範囲が決まっています。そこを超える部分は質問しても「大学で勉強してね」で終わってしまうこともあると思います。でもY先生をはじめ桐朋女子の先生方は、その先の世界で学べることでまで解説してくださり、それがきっかけで大学でも化学を学びたいと考えるようになりました。

Y先生 卒業後、理系に進む生徒は多くないのでうれしかったですね。大学生になってからも交流は続いていて、専門的な化学談義ができるのも教師冥利につきます。それとTさんも高校時代に参加していた「化学実験実習」に実験サポートとして来てくれて、生徒たちの疑問に答えたり、相談に乗ってくれたりするのも助かりました。

Tさん 高校生と一緒に実験や部活、進路についてのお話ができ、私自身も楽しい時間でした。

Y先生 あらためて高校時代のTさんを思い出すと、化学をはじめとした勉強面はもちろんですが、友人も多くて、学校行事にも積極的に取り組んでくれるなど、担任としてとても頼りになる生徒でした。

Tさん 確かに勉強面以外にもY先生には、いろ

いろと相談に乗っていただいたり、日常の些細なことで笑い合ったり、普段から楽しくお話する機会が多かったと思います。進路相談の面談でもあらたまって緊張することもなく、「私のことを理解してもらっている」と感じてうれしかったですし、私の友人たちも先生に対して同じように感じていたようです。そうした関係性が続いている卒業生が私を含め多くいるところが、桐朋女子の魅力の1つだと思います。



Y先生 これから先の目標は決まっていますか？

Tさん 現在は海外進学も視野に入れ、新たな環境で勉強に取り組むことを考えています。

Y先生 海外で視野を広げ、さらに成長したTさんとお会いするのが楽しみです。機会があれば、また生徒たちにも話を聞かせてあげてください。

Tさん 私もまた桐朋女子で、先生方や生徒のみなさんといういろいろなお話ができるのがとても楽しみです。

すでに未来へと歩みを進めた先輩、
桐朋女子で学ぶ生徒のメッセージを読み解けば、
きっとあなたも桐朋女子で未来へと踏み出す自分の姿が想像できるはず。
一步を踏み出す原動力になる学びやサポートについて、
メッセージをいただきました。



K・Oさん

在校生

仲間や先生方と 共有できる達成感は、 自分を大きく成長させてくれます。

これまでの学校生活で特に印象に残っているのは体育祭です。私は団体徒手に出場しました。仲間と役割分担しながら構成や振付を考え、朝や昼休みでのハードな練習に毎日取り組むなど、作品の完成までには多くの苦労がありました。より完成度を高めるために全力投球する仲間や、生徒の取り組みを応援してくださる先生方のおかげで、当日は観客から大きな拍手とお褒めの言葉をいただき、努力が報われた思いがしました。体育祭以外にも、数多くの学校行事があるのが桐朋女子の特長です。議論を重ねながら、一つのものを創り上げる難しさや楽しさを繰り返し経験し、やり遂げる達成感を味わい、仲間と共に成長していると実感しています。桐朋女子なら、毎日ワクワクした学校生活を送ることができますよ！



C・Mさん

在校生

みんなの個性が一つになって、 強い団結力が生まれます。

桐朋女子の仲間は、個性的で明るく馴染みやすい人が多いです。何か物事を決めるときも、個性的な意見やアイデアが飛び交い、とても活気を感じます。その反面、異なる意見で議論となり、時には話し合いがスムーズに進まないこともあります。が、「より良いものにしたい」との思いはみんな同じなので、お互いの意見を尊重しつつ、全員の気持ちをひとつの形にしていけることも桐朋女子の魅力です。体育祭や文化祭、ミュージックフェスティバルなどの行事がとても盛り上がり、部活動に全力投球できたりするのも、みんなが意見をぶつけ合いながら、目標に向かって一つになれるからこそだと思います。桐朋女子は、お互いの個性を尊重して認め合うことで仲間と団結しながら成長できる学校です。受験生のみさんの個性もきっと輝くはず。桐朋女子でお会いしましょう。

のびのび学べる桐朋女子、 生徒会が案内します！



桐朋女子には充実した施設が揃っています。

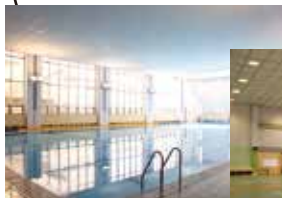
生徒会メンバーが、のびのびと学べる自慢の校舎を案内してくれました。

あなたのお気に入りの場所がきっとみつかる！

01

体育センター

4つの体育室と室内温水プールを備える施設。体育館を利用する時「さあ、運動しよう！」とわくわくします。部活動での使用も多く、この施設に思い出がたくさん詰まっている人も多いです。



体を動かす以外に
入学式・卒業式などの
行事にも使われます！

01

03

生徒のみなさんに
聞いてみました！

パン屋さんのお気に入りメニュー

人気ランキングTOP3

- 1 クリームパン ぎっしりとつまった濃厚クリームが絶品。
- 2 カレーパン 生地がおいしい！ごろごろ具材。
- 3 メロンパン カリカリ感が堪らない！甘さが最高！

パン
紹介

サンドイッチ

野菜やお肉が摂れるバランスの良い昼食です！
(ツナタマサンドは桐朋オリジナル商品！)

野沢菜おやき

鯉のだしがきいた優しい味わい。隠れ人気のお惣菜パンです。



イラスト：草刈千優(74期 緑)

生徒の暮らしの毎日を支える

ICT環境

中学1年から高校3年まで、すべての生徒がタブレット端末を所有し、普段の授業や課題の作成、部活動の連絡に至るまで幅広く活用しています。生徒一人ひとりが自分に適した運用方法を模索しながら積極的に活用の幅を広げています。



生徒会活動

生徒会は学校行事の運営をはじめとして、学校生活における生徒の自治活動を担っています。定例会はもちろん、生徒会室に集まって話をするところから新しいアイデアが生み出されることもあります。



私たちは生体が
桐朋女子の校舎を案内します！

「帰国生の眼」という帰国生が
書いた作文集もあいています。

図書館

9万冊をこえる蔵書があるので飽き
ません！また、テスト前の勉強の場
としても人気。資料集めに授業で使
うことも多くあります。

02



ポロニアホール

文化祭では先輩方が作るショーを見
たり、体育祭では結団式を開いたり
様々な場面で使われています。気が
引き締まる思いがする空間です。「入
学前の説明会などで、初めて入った
桐朋女子の施設がポロニアホール」
なんて思い出も！

02



理科室

実験室や実習室は全部で7部屋あり
ます。器具や設備も充実しています。
たくさん実験をするので、技術も身に
ついていきます。実験や観察は楽しい
ので、理科の授業が楽しみです！



地学教室



食堂の外で音大生の
合奏が聞こえたり、
演劇の練習が
見られます！



スタディー・ルーム・自習室

放課後、中学生対象に「スタ
ディー・ルーム」を開設してい
ます。英・数・国の先生が付き
添い、課題や自主学習に取り
組めます。高校生には自習室
があり、それぞれ集中して学
習しています。



校長講話

各学年、1カ月に1回の朝の
ホームルームは校長講話。話題
は、社会問題、学年に関係した
事、学校の今昔物語、校長の興
味関心事など多岐にわたります。
講話からヒントを得て自分
のこととして考える時間です。

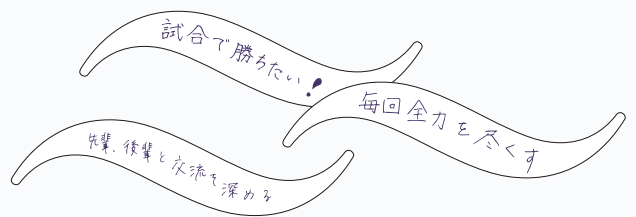


先生やコーチの指導のもと練習に励み、みんなと切磋琢磨して高め合うクラブ活動。

それぞれのクラブに受け継がれる伝統を守りつつ、

学年の枠を超えたチームワークが築かれています。

同じ時間を共有した仲間の存在は、生涯の大きな財産となるでしょう。



バスケットボール部



ソフトボール部



ハンドボール部



バドミントン部



水泳部

Sports Clubs 運動部



バレーボール部



陸上競技部



卓球部



剣道部



ダンス部



新体操部



硬式テニス部

student
comment

仲間とともに
成長を実感できる場所

陸上競技部 I・Aさん

週5日の活動のほか、夏合宿も実施しています。合宿は一年ごとに自分の成長を確認する場であり、良い記録を出せるように仲間と声を掛け合う雰囲気があります。陸上は常に自分自身と向き合うスポーツです。自分を客観的に見る力は、勉強面においても苦手な所を克服する力に繋がりました。次の大会でも良い記録を残せるよう仲間と高め合いたいと思います。



ギター部



コンピュータ部



自然科学部天文班



写真部



音楽部音楽班



工芸部



自然科学部化学班



文芸部



美術部



書道部

Culture Clubs 文化部



茶華道部



放送部



ESS



音楽部合唱班



家庭科部



演劇部



自然科学部生物班



社会歴史研究部

student
comment

自分を表現しながら
全体の調和を大切に

音楽部音楽班 H・Yさん

オーケストラの一員として演奏したいという思いで入部を決めました。弦楽器・木管・金管・パーカッションと分かれて週5日練習し、夏には合宿もあります。オーケストラでは自分を表現すること以上に全体の調和を意識し一つの作品としてまとめることが大切です。演奏を通して、周りを俯瞰する能力が培养されました。ぜひ、音楽班を覗いてみてください！

仲間と協力し、絆を深め、一生の思い出を作る桐朋女子の年間行事。

「こころの健康 からだの健康」というバランスのとれた人材の育成には不可欠です。

全体を見据えて対応する判断力、コミュニケーション力が、年間行事を通してさまざまな場面で育まれていきます。



入学式



体育祭



前期

4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September
■入学式(中1・高1)	■学年活動日 ■生徒総会 ■体育祭 ■生徒面談(高3)	■テストゾーン ■保護者面談(高3)	■ハヶ岳合宿(中2) ■東北研修旅行(中3) ■ニュージーランド・ターム留学プログラム(希望者 高2) ■オーケストラ鑑賞会(中1) ■夏季クラブ合宿	■豪州・シンガポール研修(希望者 高1) ■I.S.C.(異文化サマーキャンプ)(宿泊型 希望者)	■実力テスト ■桐朋祭



桐朋祭



学年活動日



オーケストラ鑑賞会



ミュージックフェスティバル



後期 →

10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March
■生徒面談(中1〜高2) ■保護者面談(中1〜高2) ■ハケ岳合宿(高1) ■カリキュラム説明会(中3〜高2)	■学年活動日 ■生徒会の時間(中1〜高2) ■テストゾーン ■オーケストラ鑑賞会(高1)	■中学ミュージックフェスティバル(中1〜中3) ■関西旅行(高2) ■生徒面談(高3)	■高校生徒会立候補者立会演説(中3・高1・高2) ■百人一首大会(中1〜中3) ■実力テスト(中3を除く)	■中学生徒会立候補者立会演説(中1・中2) ■テストゾーン(中1〜高2)	■生徒総会(中1〜高2) ■終業式(中1〜高2) ■生徒面談(中1〜高2) ■卒業式(中3・高3) ■春季クラブ合宿



仲間と過ごす、 かけがえのない時間



桐朋祭(文化祭)

仲間と作り上げる一生の思い出

延べ5000人以上のお客様が訪れ、毎年多くの団体が発表を行います。

中学ではクラスやクラブでの発表に参加し、
高校では有志によるグループ発表もあります。



体育祭

一人ひとりが輝ける成長の場

桐朋女子の中で最も盛り上がる全員参加の行事の一つです。
学年の中の一人ひとりが自分の競技で熱くなるだけでなく、
団結することで成長できる貴重な行事です。



Interview 生徒会インタビュー

高校執行部執行長 S・Sさん

学校生活の中で、さまざまな行事に携わりたいとの思いと、自分たちの考えや行動で学校をより良くしていきたいとの思いで執行部に入りました。体育祭や文化祭など大きなイベントの企画・運営はかなり大変ですが、参加する生徒やご来場いただいた方々の笑顔を見ると「頑張ってよかった」とうれしく感じます。忙しいときほど執行部の仲間との連帯感や団結力が強まり、やり切った後の充実感は最高です。



桐朋女子の教育は入試から始まる。

桐朋女子中学校の入試は、口頭試問や英語1教科型の試験など形式は様々ですが、どの入学試験にも、桐朋女子からの「想い」が詰まっています。

その試験の中では、結果だけでなく答えに至った経緯まで評価。

「しっかりと考えているか知りたい」、「一人ひとりと“人”として向き合いたい」、そして「桐朋女子と一緒に過ごしていく新たな仲間を迎え入れたい」という「想い」を込めて、入学試験を行っています。



1

A入試

- ▶口頭試問：口頭試問準備（約40分）、試問（約15分）
- ▶筆記試験（国語・算数）：国語、算数 各100点（各45分）

●口頭試問

本校での生活に欠かせない「聞く力」「理解する力」「考える力」「粘り強く取り組む力」に光をあてます。

試問前に準備室で取り組んだ課題について教員が質問し、考えたこととその理由を説明していただきます。

口頭試問の流れ



▶準備室

約40分
授業を受けます。
授業を受けながら、
いくつかの課題に
取り組みます。



▶試問室

準備室での課題の答えと、
その答えを導き出した
過程を確認します。
また、さらに掘り下げた
質問などを行います。

●筆記試験

国語には記述型問題、算数には途中式を書く問題が含まれ、正解だけでなく考えの道筋や表現力も重視します。

2

Creative English入試

- ▶英語1教科型入試（準備課題・インタビュー）

英語4技能、英語でのコミュニケーション力、意欲や姿勢を評価します。

英会話を聞いたり映像を見たり、文章を読んだりしながら課題に取り組み（30分）、その後別室で試問官と英語で会話します。

アドバンス
コースに
ついて



3

論理的思考力&発想力入試

- ▶記述型試験（言語分野・理数分野）：
言語分野、理数分野各100点（各50分）

国語や算数などの教科の枠を超え、様々な角度から出題されます。

言語分野と理数分野から構成され、順序立てて考えられるか、既習の内容をもとに発展させられるか、粘り強く取り組めるかなどを評価します。

4

B入試

- ▶筆記試験：2科（国語・算数）：国語、算数各100点（各45分）
4科（国語・算数・社会・理科）：社会、理科各50点（各30分） ※2科・4科のいずれかを選択

筆記試験を通じて、基本的な学力を確認します。これまでに身につけた知識はもちろん、それを活用する発展問題も含まれます。

5

帰国生対象特別入試

- ▶外国語（英・仏・独）による作文（45分）
- ▶日本語による面接（20分ずつ2種類）

海外に1年以上滞在し、小学校4年生以降に帰国された方が対象です。

海外の現地校・国際校での学習、現地の生活への取り組みについて、2種類の面接と外国語による作文を行います。

高校入試

- ・一般入試
- ・帰国生入試
- ・推薦入試
- ・帰国推薦入試



詳細はこちら

転編入試

- ・4月入学
- ・1月入学
- ・9月入学



詳細はこちら

「これから」の未来を生み出す、 創造力を持って。

凄まじい速さで変わり続ける世界。
最初から決められた正解を求めるだけの力は、
人工知能が発達する未来では通用しないでしょう。

あなたにしか、できないこと。それは、「これまで」のあなたが積み重ねた力と、
「今」桐朋女子で身につける創造力で、「これから」の未来を生み出すこと。

80年以上の歴史を持つ桐朋女子は「対話を通じて、過程に寄り添う」学びを通して、
新しい未来を創り出すエネルギーに溢れる人材を世に送り出し続けてきました。

さあ、あなたも桐朋女子で、
新しい時代に、新たな価値を創り出す人へ。

制服紹介



Red ribbon

中学冬服



Black ribbon

高校冬服



半袖
ブラウス



長袖
ブラウス





セーター

ベスト

スラックス



校長挨拶



「本気で取り組む環境」で大切な6年間で

校長 今野 淳一

12歳から18歳にかけて、人は子どもから大人に成長します。いや、自然に育つのを待つのではなく、自分で自分を育てるつもりで臨んでください。どうやって育てるの?という心配は不要です。桐朋女子では、多くの経験の場を用意しています。論理的に考える力を養うプログラム、本物に触れる体験型の学び、タブレット端末を活用した情報活用、活発な学校行事や部活など、実に様々です。桐朋女子では、経験することによって学ぶ、Learning by Doingを大切にしています。中高6年間で皆さんに望むことは、多くの経験を通して、様々な物事に取り組む姿勢を培うこと、自分を育てることです。「ことばの力」を土台にして論理的思考力を育て、多くの経験を通して、新しいことに取り組む姿勢、創造力を育てる。桐朋女子は、主体的に自分を育てたいあなたを待っています。

■ 国際教育センター

外国語会話教室の企画・運営

放課後の「英会話教室」(帰国生向けには仏・独語もあり)や休暇中の「異文化交流・英会話集中講座」の企画運営を行います。

海外研修・ターム留学の運営

高校1年次の「豪州・シンガポール研修」と高校2年次の「ニュージーランド・ターム留学」の運営を担当します。

帰国生受け入れ・海外留学や海外進学の相談窓口

海外からの帰国生の入試相談や入学後のサポート、在校生の海外留学や海外大学への進学の相談窓口を担当します。

■ 桐朋教育研究所

研究研修・出版

『桐朋教育』『研究紀要』の出版を通して、教員の自主的な研究研修を促進し、教育改革につなげます。

桐朋講座・イベント

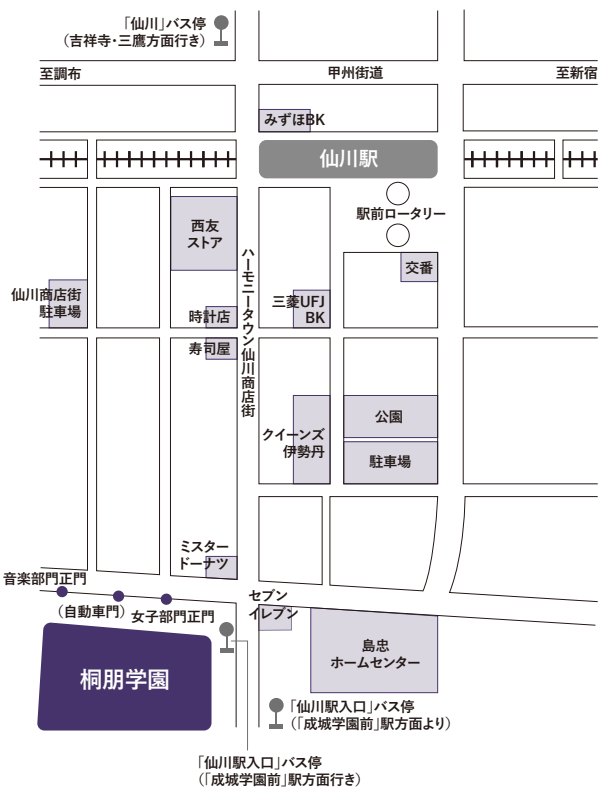
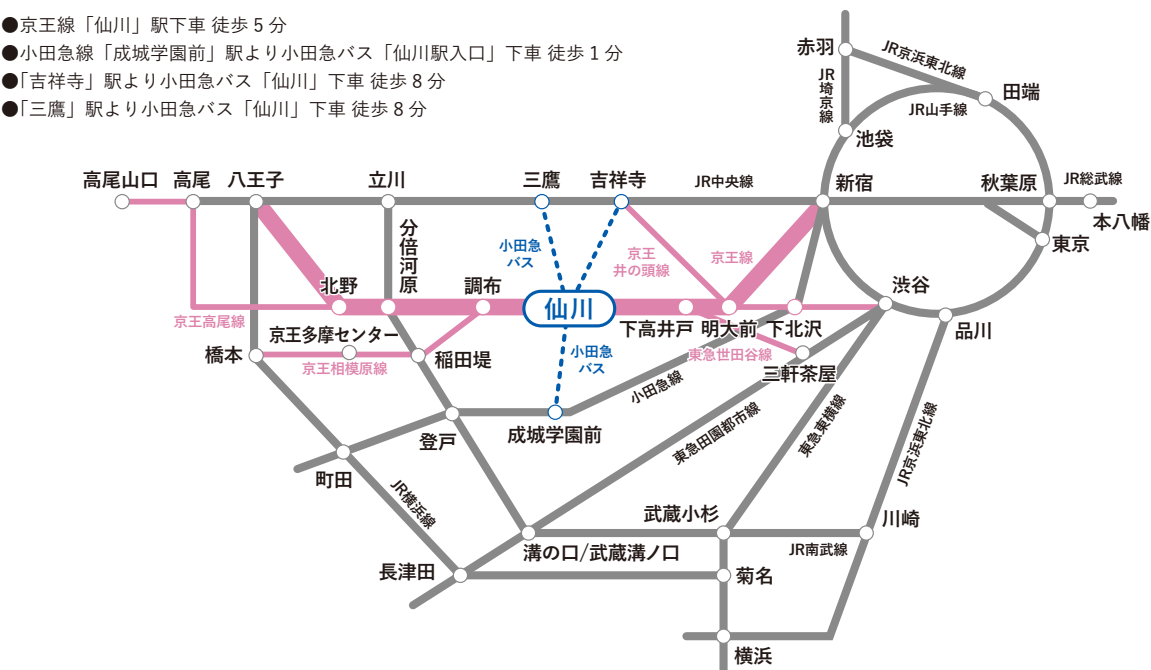
生徒、保護者、卒業生、地域の方々を対象にした生涯学習の場として、活動を行っています。

地域連携

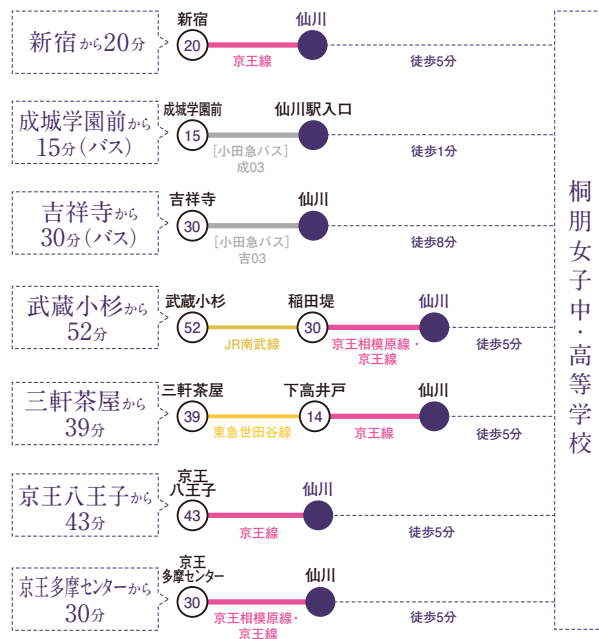
調布市、他大学と連携し、フィールドワーク、ボランティア活動等を通じた社会貢献を支援します。

アクセス

- 京王線「仙川」駅下車 徒歩 5 分
- 小田急線「成城学園前」駅より小田急バス「仙川駅入口」下車 徒歩 1 分
- 「吉祥寺」駅より小田急バス「仙川」下車 徒歩 8 分
- 「三鷹」駅より小田急バス「仙川」下車 徒歩 8 分



主要駅からのアクセス



※○の中の数字は所要時間の目安です。

お問い合わせ先

中学入試および高校入試(一般生・推薦)に関して

中高教務

TEL 03-3300-2116(直通)
FAX 03-3300-4266
E-mail chuko@toho.ac.jp

帰国生の入試・転編入試に関して

国際教育
センター

TEL 03-3300-2232(直通)
FAX 03-3300-4266
E-mail kokusai@toho.ac.jp



学校法人桐朋学園

桐朋女子中・高等学校

〒182-8510 東京都調布市若葉町 1-41-1 TEL 03-3300-2111(代) URL <https://chuko.toho.ac.jp/>



「仙川駅」
徒歩5分